

「第64回全国里親大会宮城仙台大会」
「東北地区里親研修会宮城仙台大会」開催要綱

1 大会テーマ

「子どもの最善の利益を追求し、里子の未来を応援する“里親人生”

～夢と希望をもって共に育ち合うために～

2 開催趣旨

自ら手を挙げ、里親になった私たち。それは“子どもの最善の利益を追求する”ことから、子どもとの暮らしの中から自らの幸せを見出そうとする思いからです。

今、社会的養護を必要とする児童は増え続け、被虐待・発達障害・高齢児等、複雑に絡み合う育て難さを持つ子ども達が多く存在することも事実です。そんな中で平成29年に発表された“新しい社会的養育ビジョン”では、里親委託率を3歳未満の子どもについては概ね5年以内（それ以外の未就学児童については7年、学童期以降は10年）に75%までを引き上げるとする方向性が示されました。文字通り、私たち里親に寄せられる期待は大きく、担うべきそして求められる役割も変化しています。こうした背景の中、今大会では「養育」「養子縁組」「専門」「親族」といった枠を超え、すべての里親にとって学びの多い講座を展開するとともに、一般の方々にも里親制度に興味・関心を持っていただき、里親制度や養育の実際を広く知っていただくことで、養育しやすい社会の実現と、これからの社会的養育の担い手との出会いへとつなげていきます。

3 主催

厚生労働省、宮城県、仙台市、公益財団法人全国里親会、宮城県なごみの会（宮城県里親会）、仙台市ほほえみの会（仙台市里親会）、東北地区里親会連絡協議会、社会福祉法人NHK厚生文化事業団、社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団

4 後援

社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国児童養護施設協議会、全国乳児福祉協議会、一般社団法人日本ファミリーホーム協議会、全国児童家庭支援センター協議会、公益財団法人 資生堂社会福祉事業団、宮城県児童養護施設協議会、仙台市児童養護施設協議会、社会福祉法人宮城県社会福祉協議会、社会福祉法人仙台市社会福祉協議会

5 開催期日

令和元年10月12日（土）～13日（日）

6 会場

仙台国際センター

〒980-0856 宮城県仙台市青葉区青葉山無番地

TEL：022-265-2211（代表） FAX：022-265-2485

7 参加者

全国の里親・里子，ファミリーホーム関係者，児童養護施設・乳児院・児童自立支援施設・児童心理治療施設・児童家庭支援センター等関係者，里親支援専門相談員，市町村・児童相談所等児童福祉行政・教育委員会関係者，民生委員児童委員，教育機関関係者，里親制度及び児童福祉に関心のある方，学生等

8 参加定員

500名

9 日程・内容

《日程》

【第1日目】令和元年10月12日（土）

12:00 13:00 13:45 14:30 14:50 16:50 17:10 17:40 18:00 20:00

受付	開会式 式典 顕彰	行政説明 (45)	休憩 移動 (20)	分科会・ グループ討議	休憩 移動 (20)	全体会 (30)		懇親会
----	-----------------	--------------	------------------	----------------	------------------	-------------	--	-----

【第2日目】令和元年10月13日（日）

8:30 9:00 10:30 10:40 12:10

受付	基調講演 (90)	移 動 (10)	東北地区里親研修会 宮城仙台大会企画 ユースパネルディスカッション	閉会
----	--------------	----------------	---	----

《内容》

【第1日目】令和元年10月12日（土）

○式典・顕彰 全国里親会会長表彰，東北地区里親会連絡協議会表彰

○行政説明 厚生労働省 子ども家庭局家庭福祉課 課長 成松 英範 氏

○講座型分科会

分科会	テーマ・内容
第1分科会 (定員80~100名)	「虐待・災害・情報 ～様々なストレスに晒され生きる子ども達への理解と支援～」 講師 足立 智昭 氏 (宮城学院女子大学 教育学部教育学科 教授/同 地域子ども学研究センター代表 一般社団法人東日本大震災子ども・若者支援センター代表) いま子ども達を取り巻く環境は悪化の一途を辿っています。貧困や虐待，事故や災害はもちろんのこと，インターネットやSNSに見られる特異なコミュニケーションなど，私たち大人も経験したことのない時代を，子ども達は生きているのです。震災後も継続的にこうした子ども達について，様々な研究，支援，教育を行ってきた経験と視点をもとにお話し頂きます。

<p>第2分科会 (定員 80～100名)</p>	<p>「里親のメンタルヘルス」 講師 大塚 達以 氏 (宮城県立精神医療センター 児童精神科医師, 仙台市児童相談所嘱託医) 国が里親委託率75%の方向性を示し, 里親には, 育て難さを持つ子どもの委託が, 更に増える傾向にあります。 里親は, 日々の子どもの反応や行動に振り回されてしまうことに加え, 自らの老いや健康, 親の介護, 仕事や経済の不安など, 養育以外のストレスや課題から, 心のバランスを崩したり, 子ども行動の奥にある気持ちを感じることが難しくなったりして, 親子関係の悪循環に陥ることもあるでしょう。本分科会では, 児童精神科医として臨床経験豊富な講師が, 様々な事例から, 私たち里親が, いつまでも健康的で活力に満ちた里親であり続けていくための重要性を紐解きます。</p>
<p>第3分科会 (定員 80～100名)</p>	<p>「養育困難な子どもの養育(被虐待, 発達障害, 愛着障害, 精神疾患等)」 講師 山本 恒雄 氏 (社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 愛育研究所) 今社会的養護の下にある子ども達の多くが被虐待の経験があり, 発達障害や愛着障害などが複雑に絡み合っているケースも少なくありません。それは里親に委託される子ども達も同じです。様々な課題を抱える養育の難しい子どもをどう捉え, どう関わっていったらいいか。実際に養育にあたる里親が最も必要としている課題を取り上げ, 明日からの養育に活かしていきます。</p>
<p>第4分科会 (定員 80～100名)</p>	<p>「自立した里子と, 支援者とのパネルディスカッション ～切れ目のない自立支援のあり方と人間関係の構築～」 コーディネーター 黒川 玉英 氏 パネラー 自立した元里子2名と支援者2名 里子の自立は就労がゴールではありません。就労後の人間関係の構築や, 社会人としての基本的な態度と行動, そして本人のやりがいや充実など, 里親としても心配が絶えません。本分科会では, 自立した里子と, 支援者の方にご登壇いただき, 直接お話をお聞きする貴重なプログラムです。</p>

○参加型分科会

グループ	テーマ・内容
<p>第5グループ (定員 20～30名)</p>	<p>「ぼく(ボク?僕?)はどこから来たの?～ライフストーリーワーク～」 講師 平田 修三 氏 (仙台青葉学院短期大学 こども学科 講師) ライフストーリーワークとは… “子どもが過去に起こった出来事や家族のことを理解し信頼できる大人と共に自身の生い立ちやそれに対する感情を整理する一連の作業”をいいます。 希望を見出し肯定的に前向きに生きていくための取り組みについて学びたいと思います。 里親の重要なテーマ「真実告知」。「実親の存在」「出自にまつわる疑問と知る権利」「真実告知のタイミングとアフターケア」これらを伝える準備とは。子どものアイデンティティ形成を育むための大切なプロセスについて一緒に考えてみたいと思います。</p>

<p>第6グループ (定員 20～30名)</p>	<p>「子どもたちの未来のために～これからの里親会～」 講師 岩朝 しのぶ 氏 (特定非営利活動法人日本こども支援協会 代表理事) 2017年に新しい社会的養護ビジョンの発表があり、里親委託率が高い 数値設定され、各地で家庭養育推進にあたり増えていく里親と共に里親会の あり方や運営に頭を悩ませている事と思います。 これからの里親会の運営や役割について共に学び考えましょう。</p>
<p>第7グループ (定員 20～30名)</p>	<p>「自分で生きるために～自立支援を考える～」 講師 吉田 菜穂子氏 (福岡県 吉田第一ホーム) 里子の自立支援とはどういうことか？ 「生きる力」という言葉をよく耳にします。これには、日々の生活を送る のに必要な、炊事・洗濯・掃除等をこなす力から、社会的資源を利用出来る 力等が含まれると思います。これらを身につけさせることが自立支援であり、 子どもの健やかな育ちを応援することではないでしょうか。 みなさんの体験や課題を話し合っ、充実した分科会にしたいと思います。</p>
<p>第8グループ (定員 20～30名)</p>	<p>「今だから話せる私の思い～実子の本音～」 講師 山本 真知子 氏 (大妻女子大学 人間関係学部人間福祉学科 専任講師) 里親家庭の実子数名 私たちは決意(覚悟?)を持って里親になりました。では、里親家庭の一 員として当事者となった実子の気持ちはどうだったのでしょうか？両親をどう 思うか、わが家に家族が増えた時の気持ちなど、実子の本音を聞いてみませ んか？当日は、成人から中学生まで数名の実子が参加予定です。この機会に 自分の想いを話したいという実子の方の参加も大歓迎です。</p>
<p>第9グループ (定員 20～30名)</p>	<p>「かけがえのない出会い～未委託里親の待ち方～」 講師 相澤 淳一 氏 (元宮城県北部児童相談所職員) いつ、どんな子が来るのか。委託されないもどかしさを、どう解消したら よいのか。期待と不安の入り交じる未委託里親。里親会に参加し、先輩のア ドバイスによって支えられたこととは？心構え、環境調整は？児相との関わり 方は？いざ、委託となった時、かけがえのない出会いとなるために、今、 何ができるのかを探りましょう。</p>
<p>第10グループ (定員 20～30名)</p>	<p>「子どもの権利を守るために～親権を真剣に考える～」 講師 花島 伸行 氏 子どもの権利委員会監事 (青葉法律事務所 弁護士) 子どもの命、未来を守るための“親権”のはずなのに、虐待のあげく命を 奪ったり、委託拒否などで未来を閉ざしてしまうことに使われている“親 権”。 何のための親権なのでしょうか？子どものための私たち里親や児相の立場 から”親権”を考えてみませんか！？</p>

【第2日目】令和元年10月13日（日）

○基調講演 相澤 仁 氏（全国里親会理事 大分大学 教授）

子どもの自立とはどういうことなのか。子どもには、それぞれの発達段階において、発達課題があり、その時に必要になる関わり合いを通して成長していきます。しかし、里子や児童福祉施設で暮らす子ども達は、それまでに十分な関わり合いを持っていないケースがほとんどです。私たち里親はこうした子ども達を中途養育していく上で、自尊心や自己肯定感を育みながらも、同時に社会性の形成、学力の獲得を行っていく必要があるわけです。基調講演では、こうした知識はもちろんのこと、具体的なアドバイス、心構えなどを学びます。

○ユース企画

東北地区里親研修会宮城仙台大会企画 ユースパネルディスカッション

「里子が振り返る『これまでの人生』と『これからの人生』」

コーディネーター 草間 吉夫 氏（東北福祉大学 特任教授）

パネラー 大人になった里子の方々 数名

養育中の里親や、未委託の里親にとって、巣立った里子たちがどんな暮らしを過ごしているのかは気になる場所。また、里子たちはこれまでの人生で、何を感じ、何を求めてきたのかも含め、当事者の口から実際にお話しいただくことで、自らの養育を振り返り、この先の見通しと希望に繋げていきます。

10 子ども企画・託児

第64回全国里親大会宮城仙台大会及び東北地区里親研修会宮城仙台大会の開催に併せて、下記のとおり子ども企画・託児を実施いたします。お子様と一緒にご参加される方でご希望される場合については、別紙申込書に記入の上、お申込みくださいますようお願いいたします。

		子ども企画	託児
対象児童		原則 小学生以上	原則 就学前児童
内容	10月12日（土） 13:00～17:30	<ul style="list-style-type: none"> ・遊園地（ベニーランド） （小学3年生以上） ・動物園（八木山動物公園） （小学1～2年生） （雨天時） ・仙台市科学館 ※地下鉄での移動になります。 	仙台国際センター内での託児
	10月13日（日） 9:00～12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市縄文の森広場 ※貸し切りバスでの移動になります。 	

11 お問い合わせ先

①大会・研究会内容等に関する問合せ先

宮城県なごみの会事務局

社会福祉法人宮城県社会福祉協議会 震災復興・地域福祉部

(第64回全国里親大会宮城仙台大会, 東北地区里親研修会実行委員会事務局)

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-7-4 宮城県社会福祉会館3階

TEL: 022-266-3950 FAX: 022-266-3953

②参加申込・宿泊等に関する問い合わせ先

名鉄観光サービス株式会社

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央4-10-3 (仙台キャピタルタワー6階)

TEL: 022-227-3611 FAX: 022-261-4623

12 その他

- ・本大会におけるビデオ・カメラ・携帯電話等での撮影・録音は固くお断り致します。ご理解ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。
- ・本大会における記録として写真を撮影させていただく場合がございます。記録誌作成以外の目的での使用はしませんので、ご了承願います。